

令和5年度がん対策推進懇話会（前回）の主な意見

カテゴリー		主な意見	その後の神戸市の状況	報告書
啓発	肝臓がん	この数年、脂肪肝からの肝臓がんが圧倒的に増えているが、肝臓がんはウイルス性肝炎からなるんだという認識の方が多い。そういった啓発も必要。	<ul style="list-style-type: none"> 市民向けには、ホームページ上でがんと生活習慣の関連についてのページを追加。 健診後の保健指導を行う担当者向けの会議でも、昨年・今年度の担当者会議で周知、保健指導。さらに保健指導研修（秋頃実施予定）での周知予定。 	—
予防	HPVワクチン	累積で接種割合を出すという方法が妥当かどうかは検討したほうがよい。	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールに沿って接種率の算出し評価している。 接種対象者の人口に対する接種率：毎月（市の接種率を算出） 標準年齢に対する接種率：毎年（全国との相对比较として算出） 	—
		副反応の件数は、能動的に把握したほうがよい。	<ul style="list-style-type: none"> 実績） 相談ダイヤル：R5年度211件中副反応についての相談13件（R4年度9件） 副反応疑い報告：R5年度1件（R4年度1件） 健康被害救済制度の相談：R5年度1件（令和4年度0件） 	—
		男性への助成をしている自治体も増えている。神戸市では導入の予定はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度から東京都が男性へのHPVワクチンの助成を開始したことは承知している。 HPVワクチン導入の目的は、子宮頸がん及びその前がん病変の罹患率を減少させ、子宮頸がんの死亡率を減少させることであるため、神戸市としては、女性への予防接種が第一であると考えている。 	—
	受動喫煙	受動喫煙防止の条例の効果を測る指標はあるか。	令和2年4月改正全面施行の効果について、「兵庫県健康づくり実態調査」結果を【資料3】P4にて報告。	4
早期発見	がん検診	職域のがん検診を考えずに、神戸市民のがん対策としてのがん検診を考えるのは不足だ。法的根拠なく難しいと分かっているが、大きな健保組合とタイアップして、職域のがん検診に関して把握をしたほうがよい。把握の結果、何から手を付ける連携を図るべき。	協会けんぽ及びがん検診受診促進協定団体の受診状況について【資料3】P9にて報告。	9
支援	がん患者支援	がん相談支援センターは、体制の割に相談件数が少ない。もっと取り組みを強化してもらわないと困る。	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度がん患者相談支援センター受付総件数：7,482件。コロナ禍で相談件数が減少していたが、R2年度より増加傾向。 相談支援センターとの連絡会（R6年度7月に開催済み）にて、相談状況の実態、啓発強化のための具体的な方法等について協議。SNS等の活用、院内放送やデジタルサイネージの活用など広くに取り組んでいる。 拠点病院以外で治療を行う患者の利用も広がるように、検討中の一覧表リーフレットを活用した周知に取り組んでいく。 	—
		がんとの共生（アピアランスや相談支援）や小児・AYA世代・高齢者についてのがん対策に関しての発信を強化してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> がんガイドを年内に更新・配布開始予定。冊子型のガイドだけでなく、予防を含め制度や支援の概要がわかりやすい一覧表リーフレットを検討中。QRコード掲載などで活用しやすいように工夫をしていく。また、秋頃にがん患者のニーズ調査を実施し、ガイドの更新内容等に反映させ市民に必要な情報がいきわたるよう工夫を行う。 市民が情報収集しやすいように、ホームページ上のがん対策のページを改修。 AYA世代への啓発としては、引き続きSNSの活用など広く周知できる方法を活用しつつ啓発を継続していく。 	—
		拠点病院の相談支援以外にどんなサポートがあるのか(患者会やピアサロン等)分かるような資料の作成や広報は考えているか。地域で暮らすような患者さんや家族にとってリソースが分かりやすい資料があればよいと思う。	<ul style="list-style-type: none"> 広く市民の目に止まるようホームページを改修。 年内にがんガイドの更新・配布開始予定。 	—
その他	ACP	現場ではお一人様のがん患者の意思決定をどうサポートするか話題になっている。独居や支援する家族がいない人がどれくらいいるか調べていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの職務においてACPに関わることができる医療・介護従事者を増やすことが課題と認識している。医療・介護従事者向けの研修会の実施について【資料3】P18にて報告。これは本人の意向を尊重した意思決定を支援できるよう、医療・介護従事者の実践力を養うものであり、今年度も実施予定である。 相談支援センターとの連絡会にてACPについて所管課より情報提供を実施。 本市における高齢者人口（419,161人）中単身高齢者（101,752人）の割合は24.3%であり、全国値の19.0%と比較して5.3ポイント高い状況。 ACPは単身高齢者等の方にこそ知り、考えてほしいことであり、地域包括ケアシステムの啓発をもとに成年後見制度や死後事務・委任契約など、様々な制度も併せて周知していく。 	18
	がん登録	<p>がんの罹患データが欠落している。全国がん登録のデータから罹患データの動向を提示してほしい。また、院内がん登録のデータから、神戸市内の拠点病院ごとの患者数や部位別の数、ステージ、5年生存率等が分かるのでこれらも俎上に載せて検討したほうがよい。</p> <p>がんでの死亡率を見ると、長田区は中央区の1.5倍となっている。様々な角度で要因を分析したほうがよいのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> R6年7月中旬、兵庫県より全国がん登録データ（2016～2020年）及び兵庫県地域がん登録データ（2015年）を収集。匿名データをもとに、神戸市の現状把握や全国比較を行い、課題の抽出・分析からがん対策の企画立案を積極的に取り組んでいく。（主な項目：診断年、年齢（5歳刻み）、性別、区別、がん種発見経緯・進展度、生存期間、死亡年月など） 院内がん登録の部位別登録数（診断年：2022年）を【資料4】P12に掲載。 	12